

## 臨床現場から考える With/After コロナの医療

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2019年11月に中国武漢で発生が確認され、その後世界中に広がり、2020年3月にはWHOがパンデミックを宣言した。日本国内でも4月に緊急事態宣言が出され、不要不急の外出自粛、多数の者が利用する施設の制限、3密を防ぐライフスタイルの推奨など新しい生活様式が急速に広まった。テレワーク、マスク着用やソーシャルディスタンスなども定着しつつある。COVID-19により、人々の生活様式が再構築され、一変している現状がある。医療機関においては、生活様式の再構築や未知の感染症に対する不安から課題が顕在化した。

現在大学病院での臨床業務を兼任しており、COVID-19による臨床現場の逼迫した状況を経験した。今回の抄読会では、臨床現場でのCOVID-19への対応と、COVID-19がこれからの医療に与える影響について述べる。